

Japan.

資料1-1

政府相互運用性フレームワーク

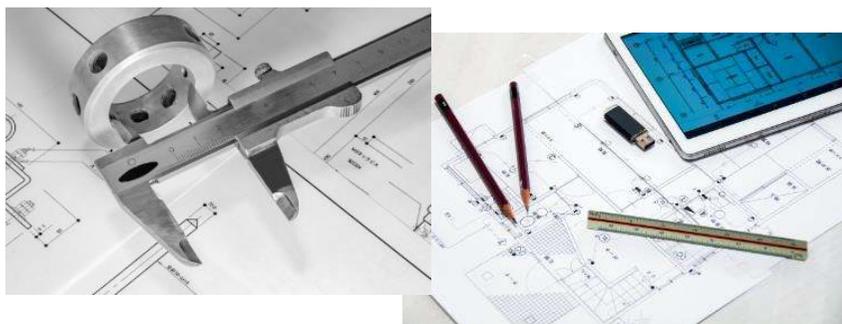
GIF: Government Interoperability Framework

2022-10-11

Digital Agency

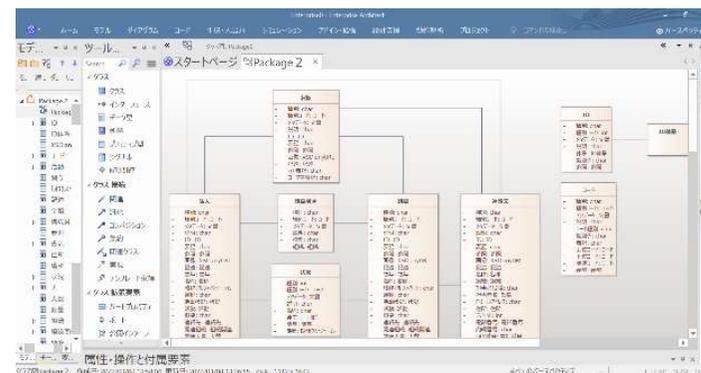
GIF (政府相互運用性フレームワーク)とは

- モノや建物を作るときにルールや技術規格があります。
- GIFは、デジタル社会のための連携ルールや技術規格、ひな型をまとめたものと考えてください。



建物や製品を作るには設計の記法、取引ルールは、100年以上前から確立しています。そして、モデルプランや部品、取引ルールが用意されてきました。

このため、大量生産、継続的改善やイノベーションができてきました。



デジタル社会のための設計の記法、取引ルールは、発展途上です。GIFは、デジタル社会のモデルプランや部品、連携ルールを提供するものです。

分野横断のサービス実現やサービスの広域展開や持続、発展をさせるためには欠かせない基盤です

ガイドブック群

政府相互運用性フレームワーク 全体編

コア語彙 (共通語彙基盤)

コアデータモデル 全体概要
 コアデータモデル解説書 個人
 コアデータモデル解説書 連絡先
 コアデータモデル解説書 住所 (アドレス)
 コアデータモデル解説書 法人
 コアデータモデル解説書 施設
 コアデータモデル解説書 アクセシビリティ
 コアデータモデル解説書 子育て支援情報
 コアデータモデル解説書 土地 (予定)
 コアデータモデル解説書 建物 (予定)
 コアデータモデル解説書 設備 (予定)

コアデータパーツ 日付及び時刻
 コアデータパーツ 住所 (アドレス)
 コアデータパーツ 郵便番号
 コアデータパーツ 地理座標
 コアデータパーツ 電話番号

実装データモデル (行政) 申請・届出
 実装データモデル (行政) 証明・通知
 実装データモデル (行政) 事例
 実装データモデル (行政) 行政サービス・制度
 実装データモデル (行政) イベント
 実装データモデル (行政) 報告書

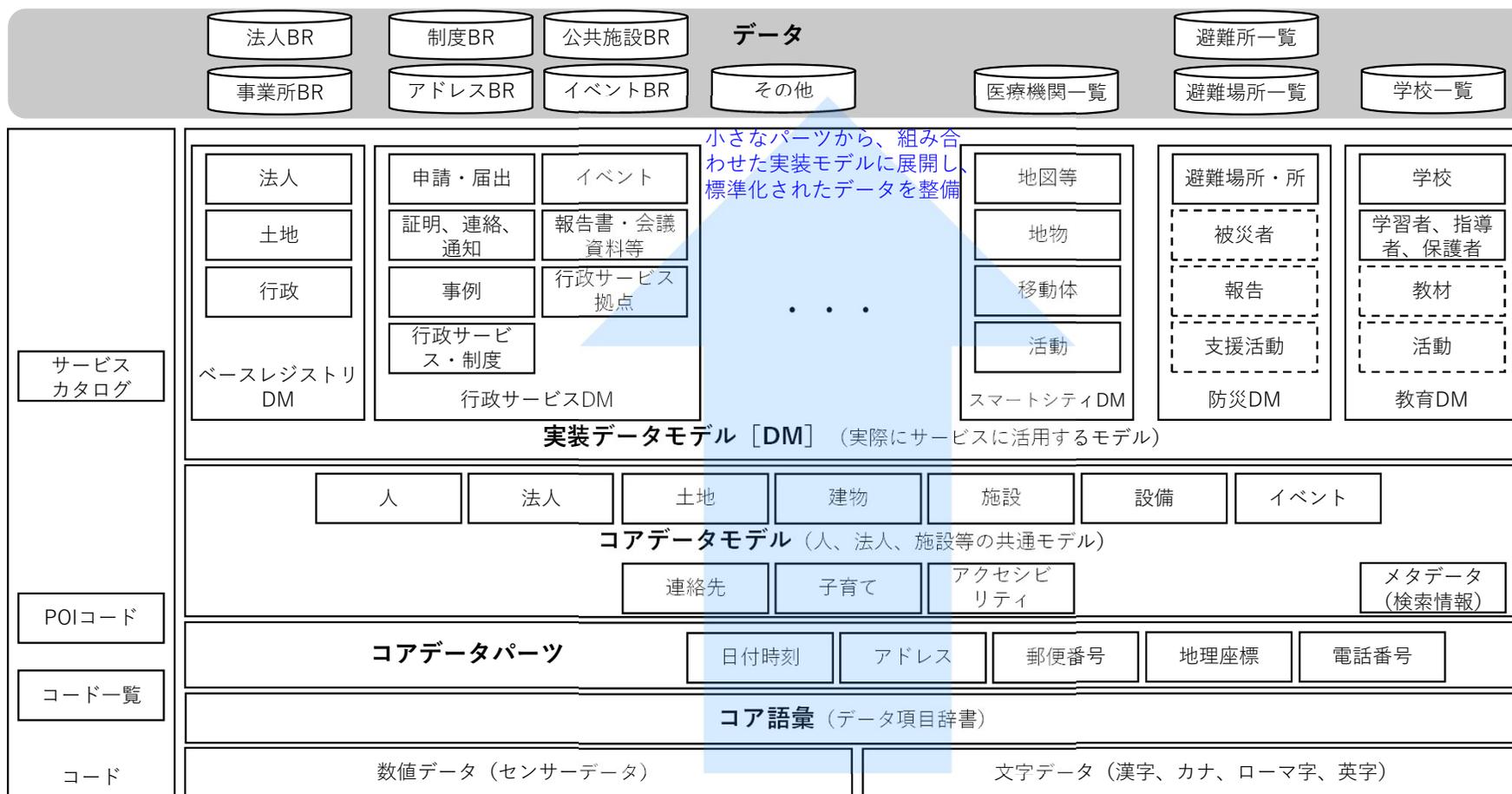
行政サービス拠点・支援機関等
 実装データモデル (行政) 調達
 実装データモデル (スマートシティ) (予定)

文字環境導入実践ガイドブック
 マスターデータ等基本データ導入実践ガイドブック
 コード (分類体系) 導入実践ガイドブック
 API導入実践ガイドブック
 データマネジメント実践ガイドブック
 データ人材管理実践ガイドブック
 データ環境整備のための
 アーキテクチャ管理実践ガイドブック
 データ品質管理ガイドブック
 メタデータ導入実践ガイドブック

コード サービスカタログ
 コード コード一覧
 コード POIコード
 ルール GIF推進に有益なルール等

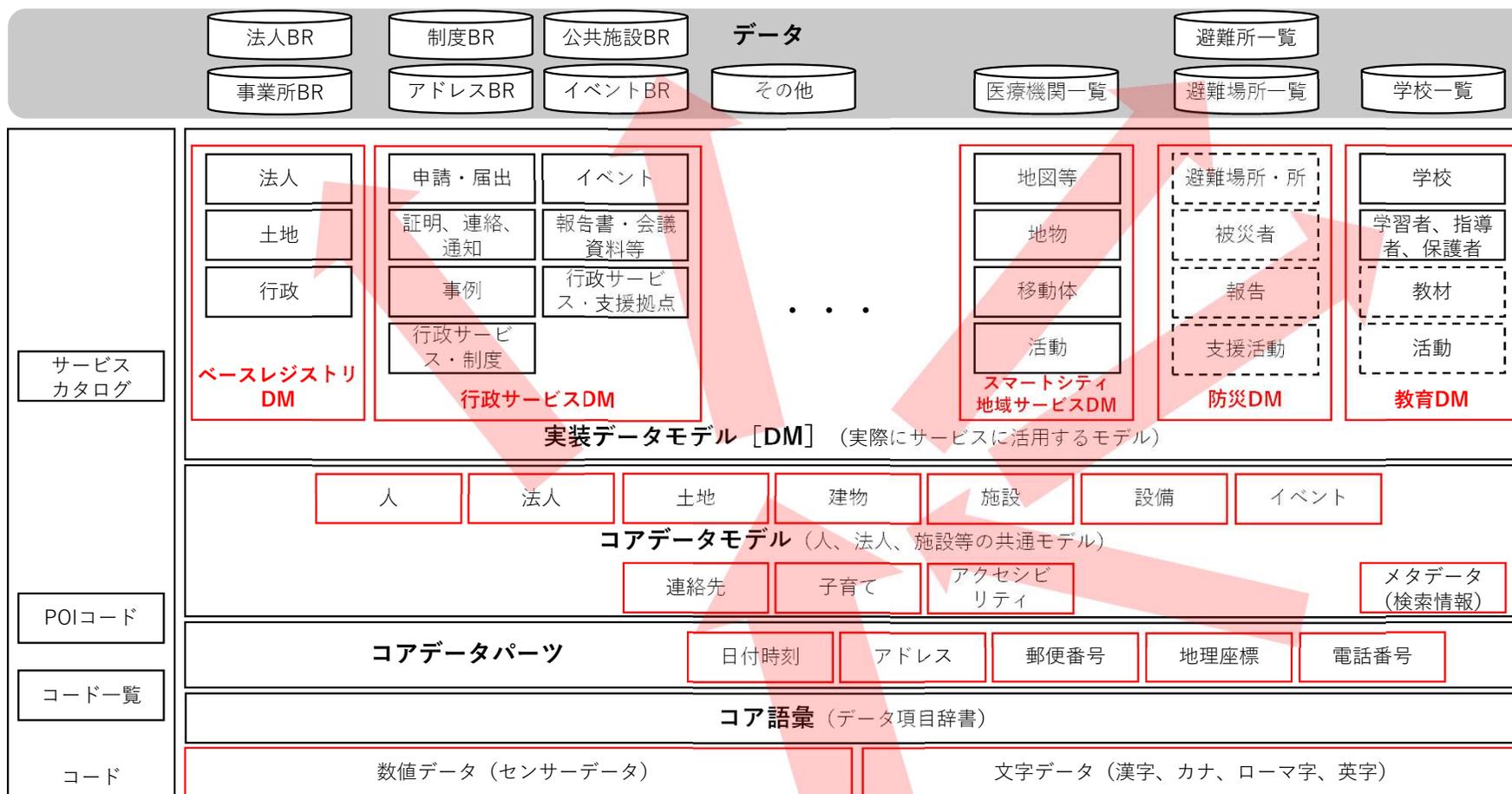
データモデル等の詳細構造

- データモデルの基礎を共通化し、分野のデータを整備しています。



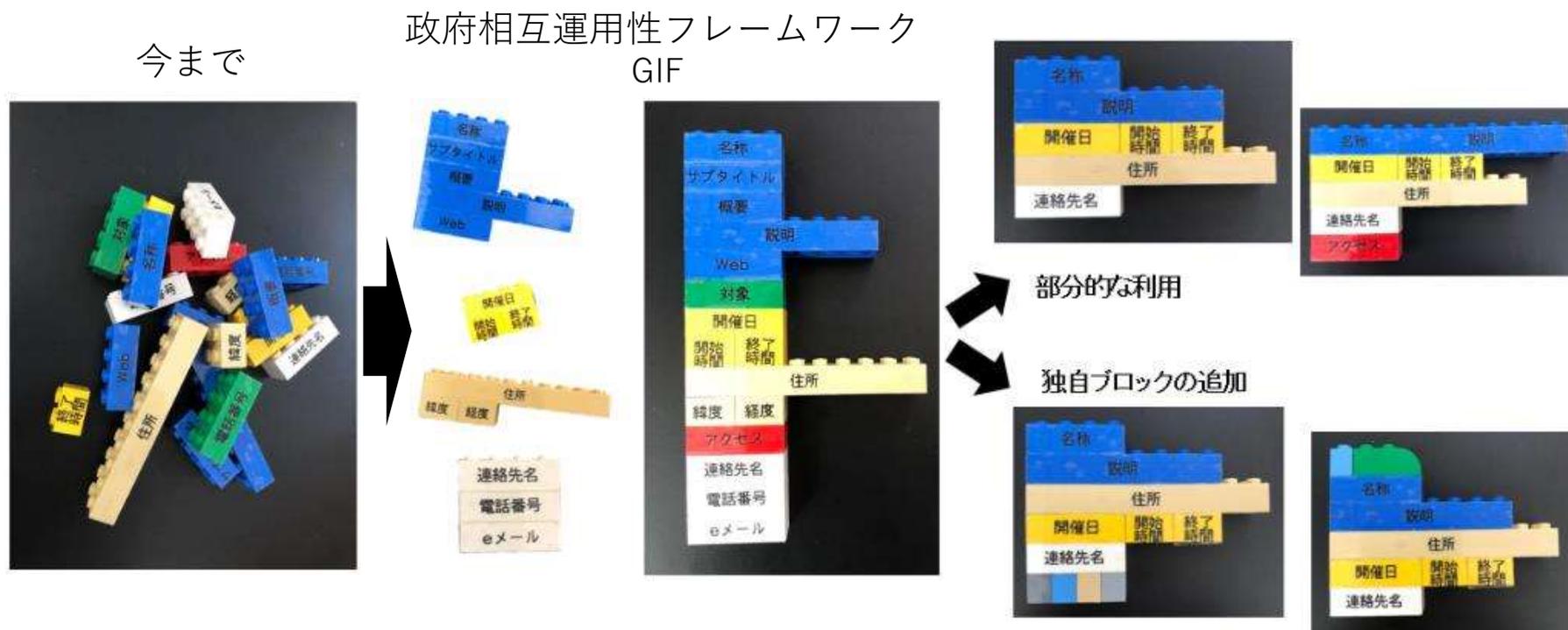
基本構造が同じデータが分野横断で整備されます

- 行政、教育、防災、スマートシティで、データモデルの推進が始まっています



具体的なイメージ

- データ項目をモジュール化して、目的に合わせて組み合わせたり部分利用することでデータ連携が容易にできます。



- モジュール化することで設計を効率化
- インタオペラビリティを確保

コア・データ・パーツ

- コアデータパーツは、日付、アドレスなど、どのデータにも共通的に活用されるデータ項目を定義しています。
 - 組織内で複数のシステムを保有していると、日付の形式が違うといった問題が発生します。
 - 現在は、その揺らぎを変換ツールで解消する場合も多いです。
- 設計時やインタフェースに**コア・データ・パーツ**を使うことでデータ連携を容易に実現することができます。

従来の様々な定義

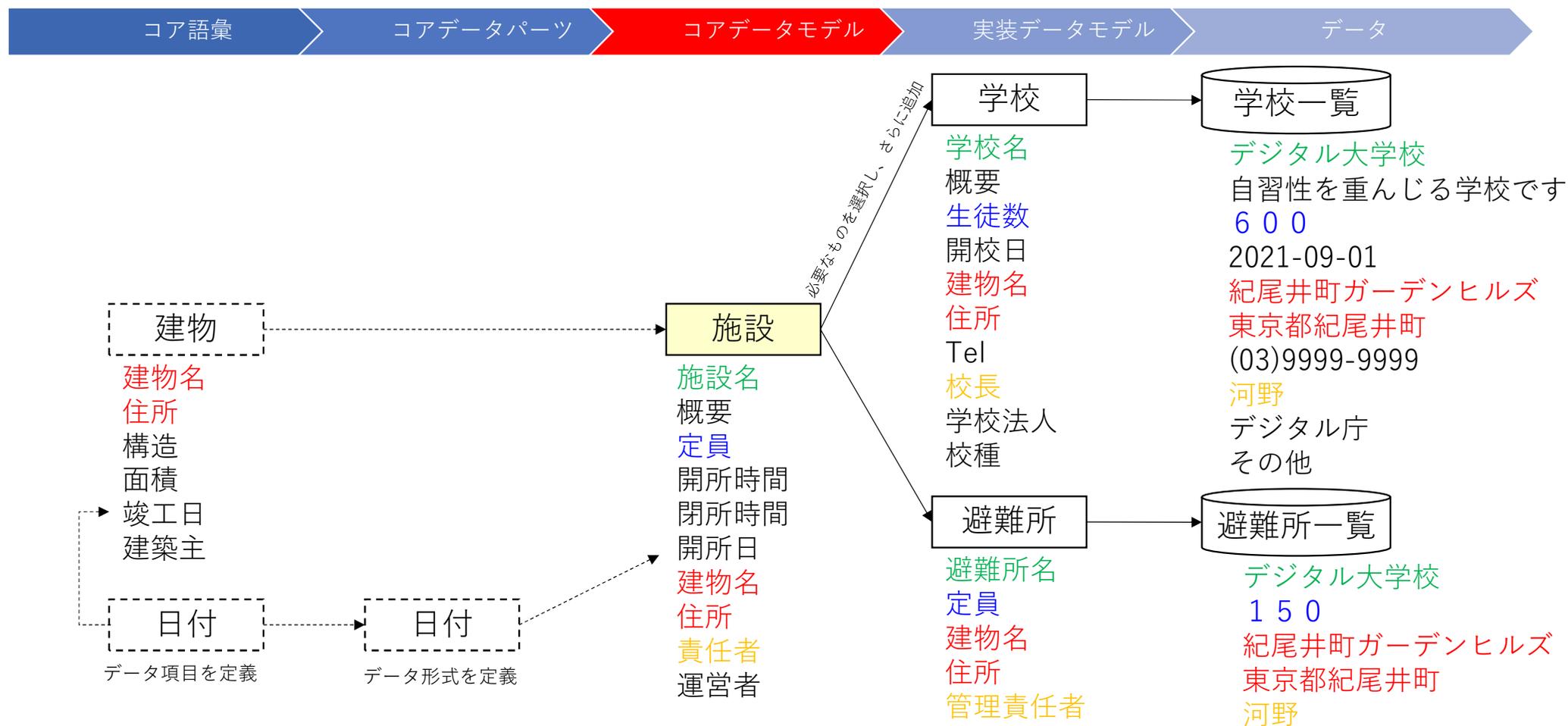
2022年3月31日
2022年3月31日
令和4年3月31日
2022/03/31
20220331
Mar. 31, 2022

コア・データ・パーツ（日付）

2022-03-31

コア・データ・モデルの活用

- コアデータモデルを使うことで、簡単に各分野のデータ設計ができます。



見つけられること、使えるデータであることが重要

- データの価値を高めるためには段階的な取り組みが必要。
- システム更新のタイミングを使って改革を図る。

エコシステムの実現

ツール高度化

AI等で解析
ができること

データの各項目を使って
様々な分析が可能

- AI技術
- ビッグデータ解析技術

自動処理でき
ること

データが項目に分かれて
いると自動審査ができる

- 自動審査
- RPA
(Robotic Process Automation)

業務高度化を実現

業務の高速化、
効率化を実現

データ品質向上

使えるデータ
であること

データを組み合わせて
利用可能

- データ標準
- データ品質管理
- クレンジング

複数データを使っ
た業務改革を実現

オープン化
カタログ整備

見つけられる
こと

データが見つけられな
ければ、誰にも使われない

- 台帳などの基本情報リスト
- データカタログサイト
- カタログ検索情報の標準化
- サービスメニュー標準化

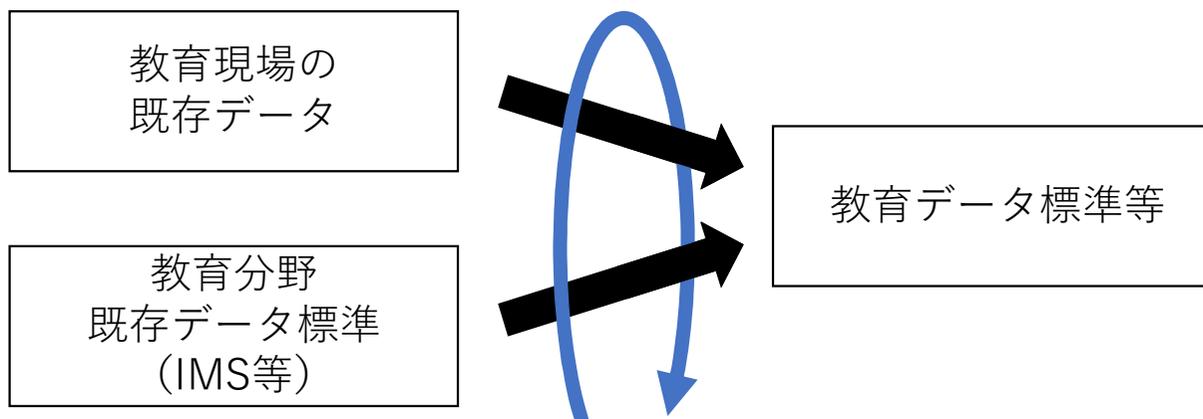
必要なデータを
入手可能

ルール整備
標準整備
ツール整備
↓
データ整備

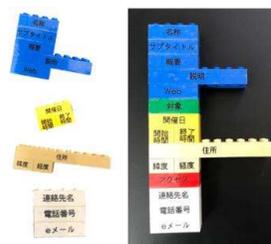
- 基盤整備
- 量と種類の充実

既存データや標準の尊重

- 教育分野の既存のデータや標準を重視しつつ、他分野とも連携が容易なデータを設計できます。



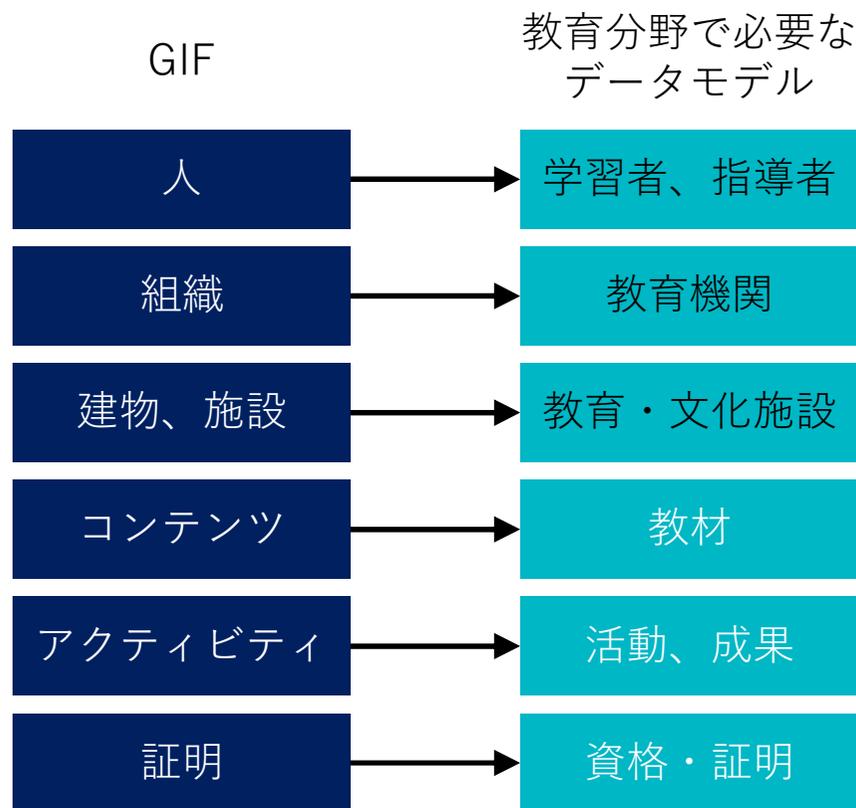
GIFのデータモデル等



- 日付表記の統一
- 「氏名」を「氏」「名」に分離などを検討
- 連絡先項目の統一
- アクセシビリティ情報の付加等

教育分野の主なデータ項目

- GIFのデータモデルに項目を付加したり、省略することで活用しやすいデータを作ることができます



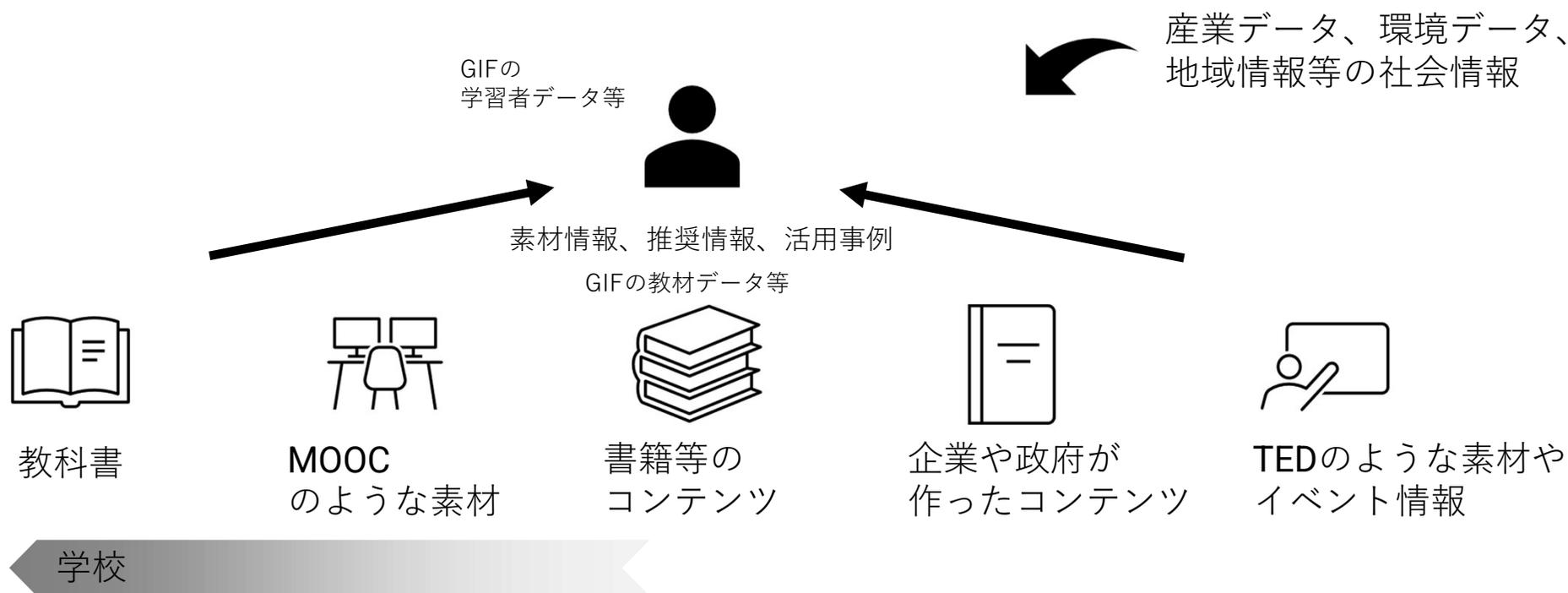
標準的なデータ体系を参照することのメリット

- **作成の容易さ**
汎用的なデータモデルをベースにデータ項目を追加/除外することで、使いやすいデータを作ることができる
- **データの充実**
他分野で作られたデータを教育現場で活用しやすくなる
- **ツールの共有・転用**
他分野でも使われる各種ツールを使うことができる

適用イメージ

データを活用することで学びの幅が広がります

- 「学びたいときに、様々な学びの素材にアクセスできる」
= 「いつでもどこでも学べる」
- さらに、理解を深めるため、学習履歴を活用することも考えられます。



必要なときに必要な学びができる基盤を提供します

アダプティブ・ラーニング

- データを効率的に分析し、的確に学習することができます
- GIFの活用が検討できるデータ：教材データ、学習履歴データ

オンデマンド・ラーニング

- 必要なコンテンツを必要なタイミングで入手することができます
- GIFの活用が検討できるデータ：教材等カタログデータ（メタデータ）

ライフロング・ラーニング

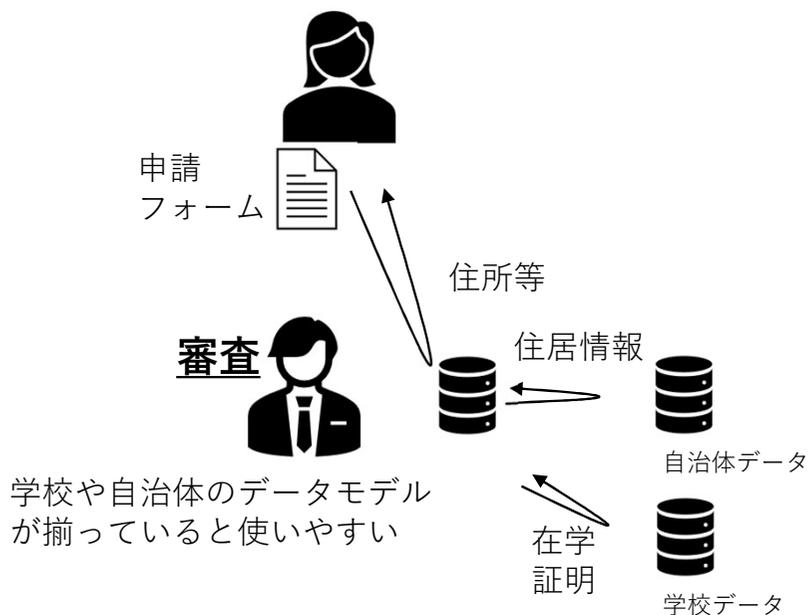
- データモデルが揃っていることで、長期間にわたり活用することができます
- GIFの活用が検討できるデータ：学習履歴データ
- 様々な分野のデータ提供者のデータが活用できます
- GIFの活用が検討できるデータ：教材等カタログデータ（メタデータ）

校務の軽減や情報提供の充実にもつながります

- GIFは様々なデータモデルを定義しており、校務管理はもちろん、申請、証明、連絡等の効率化や、制度情報の提供方法の拡大にも使えます。

申請ワンスオンリーサービス

GIFベースで各種フォームを設計することで、申請画面に登録情報、過去情報が自動入力されるので申請が楽になります



情報提供サービス

GIFベースで情報提供することで、必要な人に必要な情報を届けやすくなります

